

磐城時報

福島縣石城郡平町細屋町十四
印刷部 印刷
編輯部 編輯
發行部 發行
電話 二四九
郵便 第三三九號
代價 毎冊一角五分
廣告料 一行四角五分
日刊 日曜日 休刊

此上運輸の許可なきやう

野崎縣議等が陳情

三井と好間軌道の競走と 平、好間間軌道撤廢問題

平町から好間村に通ずる好間軌道の妥協を計らうと奔走中であ
道株式會社の軌道自動車は乗合が、之に對して軌道會社では
自動車に壓倒されて運輸を休止 兩者が妥協しては資本金
してゐるので之が軌道撤廢の件 十萬圓(全額拂込)の會社が再
は兼てから懸案となつてゐたが 道路改修に要した二萬四千圓
十五日會社の重役會を開き撤廢 につき協議を遂げる處があつ
た。

同軌道自動車は三井自動車の 運輸によつて經營困難となつ
たもので會社でも乗合自動車 運輸の許可を得て目下兩者で
競争運輸の状態である。

然るに前記の如く縣道の上に廢さるるやう陳情する事になつた
物同様の軌道を布設しておく事が、この陳情が通るか否かは疑
は交通上非常な不便であるため問題視されてゐる、兎に角来る廿
野崎縣議等は軌道撤廢を條件と日に開かるる總會に於ては軌道
して三井自動車部と好間軌道會撤廢の件が上提される筈である

嚴重な取締の反動で

結局飲食店移轉か

荒井署長の斷乎たる方針を 喜ぶ 平町民

平警察署では荒井署長着任後交 警戒をなし客に登樓遊興を強
通事故防止、風紀紊亂の矯正に 要したのを發見した場合直に
全力を注いでゐる事は屢報の如 告發をなし毎日數件の即決言渡
であるが、この嚴重なる取締 して料金をとられ拘留處分を受
の結果飲食店業者は十二時以後 ける者がある仕来で、この儘で
の營業嚴禁され、署員が斷斷な は營業を廢すより外に道がなく

愈々具体化した

湯本水道計劃

好間川から引水するため 好間村に交渉

石城郡湯本町では飲料水難に陥 好間川が生死の岐路に立つた苦
町民が生死の岐路に立つた苦 年を経るにたつた町經營の水道を
敷設することになり町會議員中 から委員を擧げ水源地その他の
調査をなす一方財源抽出につ き
研究中だつたが今回漸く具体案 が出來た、即ち水源はさきに多
くの問題を重ね漸く入山炭坑會 社が水利権を得た好間川の水利
権を無償譲渡され、町費と國 庫費補助、それに某方面からの
出費によつて敷設することに決 定し水利権の譲渡については水
源地好間川の諒解を得る必要が あるので十四日午後二時から兩
町村の關係委員が平町訓盲院に は無論無償譲渡する方針である
ので近く解決出來る模様である

訓盲院で

縣產婆會總會

渡邊衛生課長臨席

縣產婆會總會は十六日平町磐城 訓盲院内に開いたが縣から會長
た以前の網と様式を異にした事 渡邊衛生課長臨席午前十時
扇屋旅館に評議員會を開き總會 見たので關係者は有頂天となり
の提出事項を審議し午後一時 渡邊衛生課長の挨拶で總會を
開き昭和三年度決算千二百六十 圓、四年度決算千四百五十二圓
を可決、日本產婆會出席者二名 署に於て四倉人力車の車体檢
査を行ふ。

人力車体検査

平獵友會活動

平警察署管内平獵友會總會は十三日 立病院醫師の講演あり午後三時
閉會した、尚ほ平產婆會總會は 十六日午前十時から磐城訓盲院
に開き會員に對する見舞金、悔 獵者が跋扈するので獵友會が警
察當局を援助して狩獵者の取締 るることに就て萬一の事がないや
うに火藥の取扱、狩獵上等に就

大敷網大漁

田町小濱の大敷網は去る十一日 網をなした。

娘と逃げた婿を

文書偽造で訴ふ

自稱新聞記者の悪事

平町四丁目柴崎よね(四四)私生 來り娘夫婦に百圓を貸したが、
兒柴崎かね(二二)は過般自稱新 聞記者柄木縣警谷郡警根村生
八木澤清(二二)を婿に貰つたが のでよねは十五日平署に八木澤
家庭不和のため離婚した處、か を相手取り私文書偽造行使の告
ねは八木澤を慕つて共に出し 訴をなした。

石城種牝馬検査

▲石城種牝馬検査は十六日午前 十日

植田、泉間

トネル工事

常磐線植田、泉間間の大平山 トネル下水工事のため去る七月
二十九日から兩隣間は列車の單 線運輸を行つて居たが工事も近
く完了し来る二十五日から從 前通り復線運輸をなす。

木村清治

二十三日より開會の萬國議員 商事會議も昨二十六日を以て
終了致候、本日は宮殿博物館 ボツタム湖畔の夏の宮殿を參
觀致し鄭重なる饗應に預り申 候、明晩私はオランダに向ひ
出發、ベルギー、フランス、 英國を経て米國を渡し、十一
月二日シヤトル發の汽船にて 歸朝する事に相成候、横濱着
は多分十一月十五日頃かと 存じ候、桑港發にては本年
の歸國六ツかしい程満員の由 に候。
(九月廿七日ベルリンにて)

機關庫四氏

功勞章を授與
平機關庫勤務機關手野崎三吉、
五味淵庄次郎、山崎倉五郎、技
工鶴山甚三郎の四氏は三十年勤 績し成績、操行共に他の模範と
なつてゐるので近く賞金四百圓 を添へ水戸運輸事務所から功績
賞を授與される筈である。

四倉校運動會

▲四倉校運動會 四倉 小學校の秋季陸上大運動會は十 五日午前八時より同校庭で舉行 した。

原町通信

相馬地方の 獵解禁日

獵解禁日も愈々今十五日となり天狗連は夜明を待兼ね思ひ思ひの山野に出掛け吾れこそは當日の勇者と許りに第一日を暮したるが先づ其重なるものは相馬地方では太田村から石神村大字高の倉一帯は雉、山鳥、兎等。原町から西三里餘にはバックキキ獵區がある入場承認料は一日一人金二圓又其北部には眞野獵區があつて一日金三圓、獲物は山鳥、雉、兎である。其他相馬郡下には上眞野村小池、横原、八澤等の優良獵地があるなど前途頗る有望である。

鹿島雷神祭禮

相馬郡鹿島町雷神社にては本年秋以來神樂新築中の處之れが竣工を告げたるを以て十五日盛大なる祭禮を行ひたるが、當日は朝來花火を打揚げ、餘興としては神樂、民謡大會などありたるを以て近郷近在よりは参拜者ありて雑踏を極めた。

眞野村清潔法

相馬郡眞野村にては十五日村内一般に亘り清潔法を執行した。

四倉座上演

十六日夜より平館出張東妻三郎主演連続映畫近藤勇、鈴木傳明主演後と人生、日活大作品繪本武者修業等を上演すること。

品は今少し經濟緊縮にはならぬでせうか、私は第一の布施は實に困ると思ふ、まるで町税か國税でも納めるよりなほひごいと思つたから第一お寺の御布施は節儉の納品を第一經濟にして緊縮の方法を取つて頂きたいものだ。(町民) 十四日午前十時頃僕は荷物

佛國マルソー會社元詰
生葡萄酒
マルソー・ブランク・白 ¥1.10
マルソー・ルージュ・赤 ¥1.10
良品にして安價賣行飛ぶが如し


西村屋藥局

驚いた!!!

こうまで安いとは
平・加納活版所の印刷物
した、警察官は彼の様な運轉手を見たならば大いに罰して貰いたい。(憤慨生) 新川町某々、ミヤの親方、長もちかつき時代ならイザ知らず緊縮の折五十銭を出した引いたりとは親方の氣が知れない五十銭に氣をもむより黒帯のやぶれは機フンドシシツカリしめてか、れ。(食道樂)

江戶前季節
鳥松
松たけ
料理
平町南町平館隣り
蒲燒魚榮
電話四二四番

心地良き秋が訪れます
秋向着尺モスリンを帯側が澤山入りしました
御仕度は當店
龜田屋
電五七



腸胃 内科
十二指腸虫病 腸胃病 腸胃病 腸胃病
専門 村松
院 醫科 (七〇一話電町南平)

毒核 皮膚病
皮膚病 皮膚病 皮膚病
皮膚病 皮膚病 皮膚病

平五 山野邊藥局

牛豚肉廉賣
秋みみのる秋!! 肥ゆる秋!!!
愈々食肉のシーズン来る
精力と体力の増進を計るは今!!!

牛	中	肉	百	金	二	十五	錢
牛	上	肉	同	金	四	十五	錢
豚	中	肉	百	金	六	十五	錢
豚	上	肉	同	金	八	十五	錢
同	中	肉	百	金	二	十五	錢
同	上	肉	同	金	四	十五	錢
同	中	肉	百	金	六	十五	錢
同	上	肉	同	金	八	十五	錢

深谷牛豚肉店
電話五二四番

秋冷の候各位益々御清榮の段賀し奉ります。扱て弊店事平素特別の御最負に預り難有御禮申上げます就では謝恩の意味で来る**十七日磐城高等女學校陸上運動會**當日各位の御便宜を計るため會場なる**校庭内**にすし辨當の賣店を開設致す事になりましたから何卒御利用の程偏に願ひ上げます。

平町材木町(電話五〇六番)
仕出し花月

カキ貝御料理
十六日より
カキフライ
カキカレー
カキ鍋
カキ刺身

料理の
白井權八
電話二六七番

映畫藝術黎明來人々見や偉大此寶玉篇を
森の鍛冶屋

◆松原 監督 無然一助 演
◆井原 監督 限美大藤野秀夫 演
◆上田 監督 興の瀧田中綱代 演
◆大村 監督 興の瀧田中綱代 演
◆大村 監督 興の瀧田中綱代 演

◆松竹提供 | 石太プロ大伴
◆市川右太衛門 | 主演五味園枝
◆古海卓二 | 監督若月孔徒
◆原任 **小金井小次郎** 全
◆武州の長脇差小次郎が壯年の旅に血と涙と剣に彩られた任刃義劍

平町南町
光線科
上田外科醫院
電話一二九番